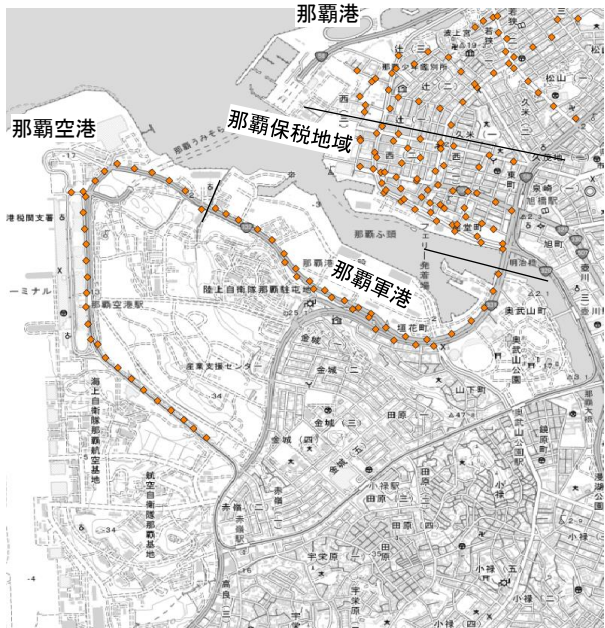




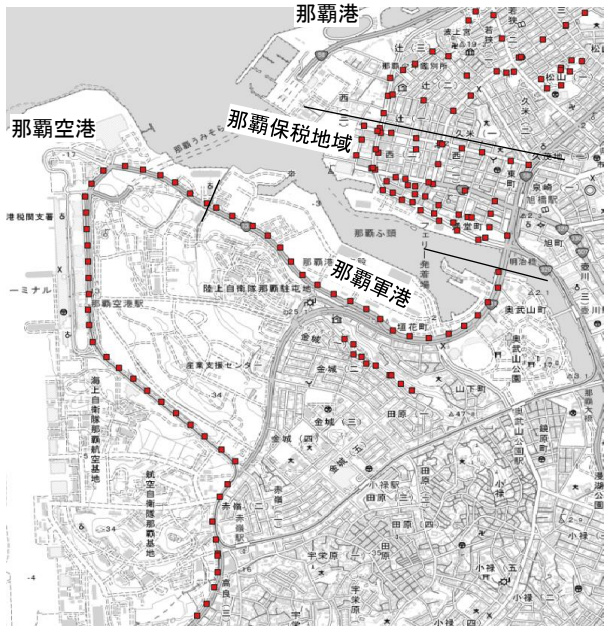
2022 秋



2021 秋



2020 春 (●)・秋 (▲)



2019 秋

那覇空港

図 2-1.3 調査地点

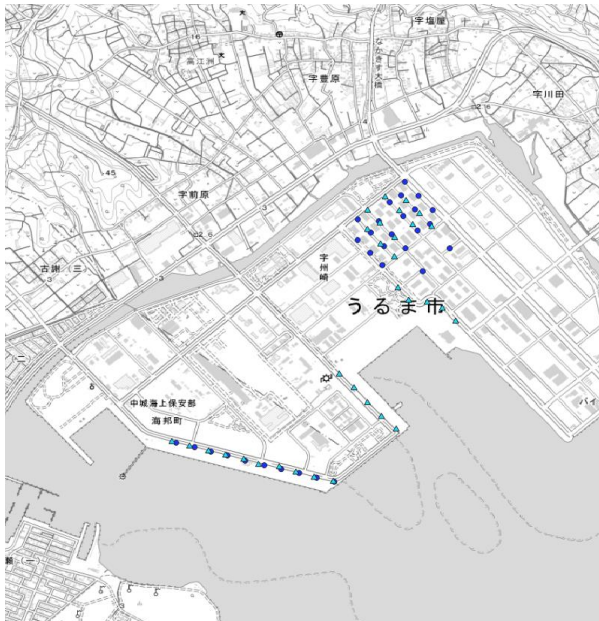
地理院タイルに追記



2022 秋



2021 秋



2020 春 (●)・秋 (▲)



2019 秋

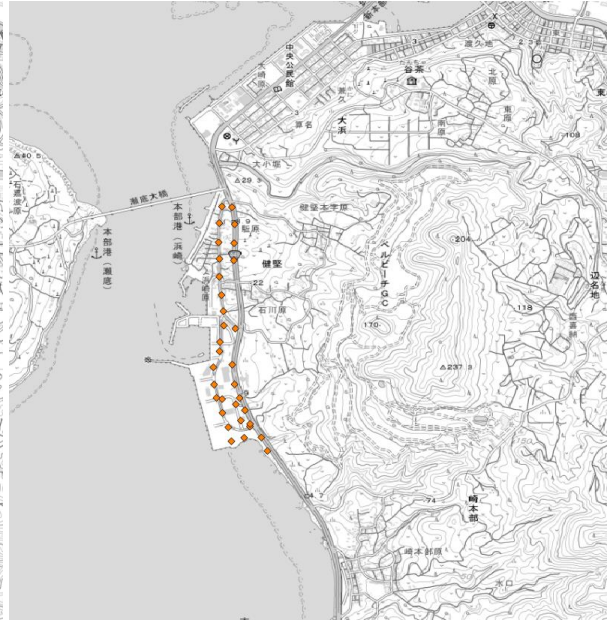
中城湾港

図 2-1.4 調査地点

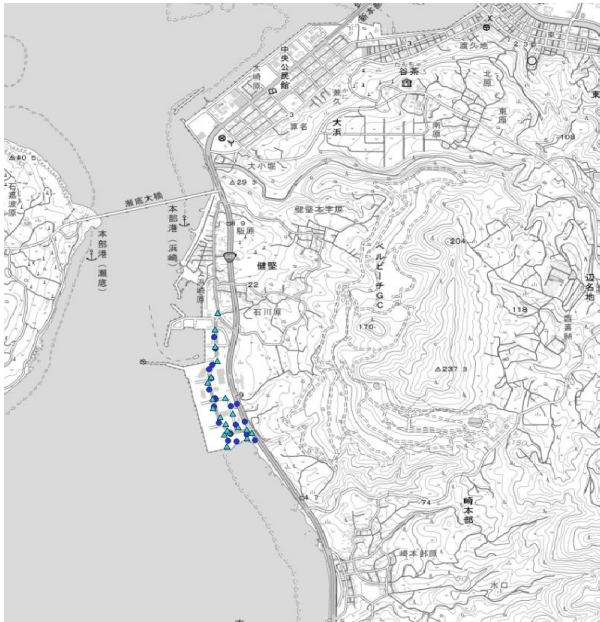
地理院タイルに追記



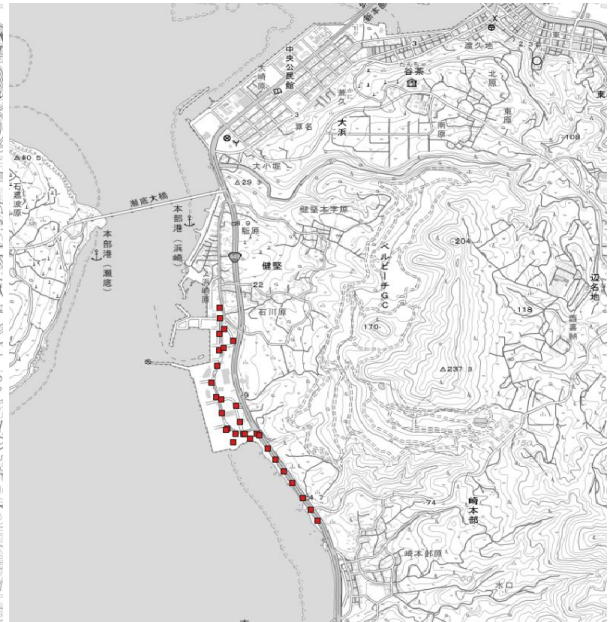
2022 秋



2021 秋



2020 春 (●)・秋 (▲)

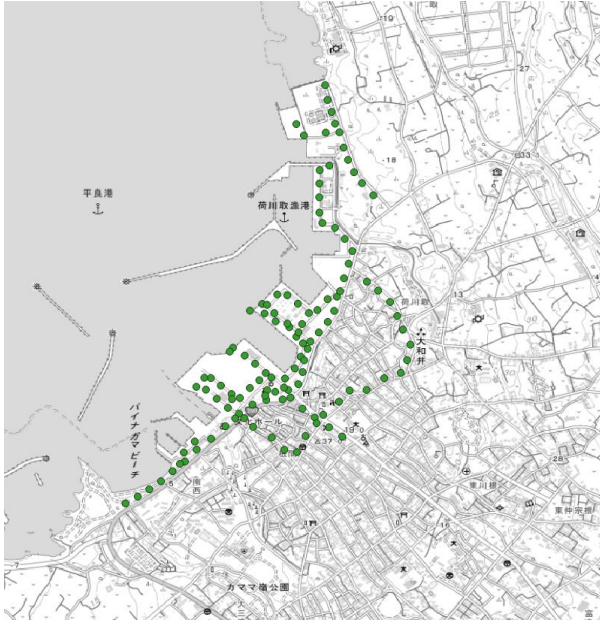


2019 秋

本部港

図 2-1.5 調査地点

地理院タイルに追記



2022 秋



2021 秋



2020 春 (●)・秋 (▲)

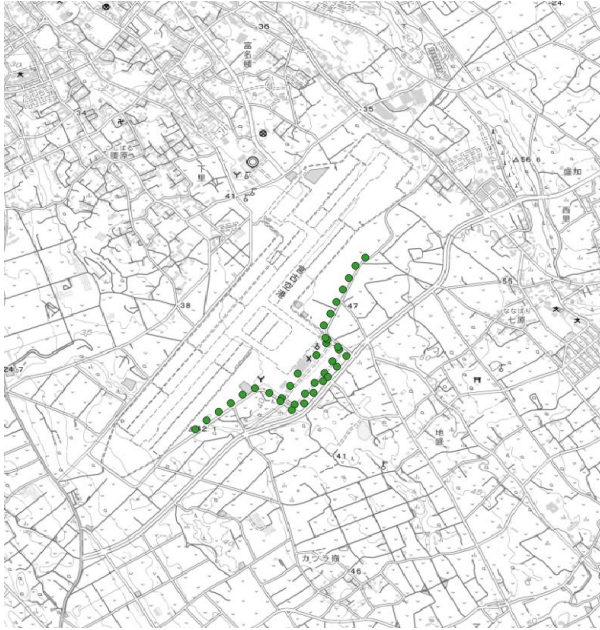


2019 秋

平良港

図 2-1.6 調査地点

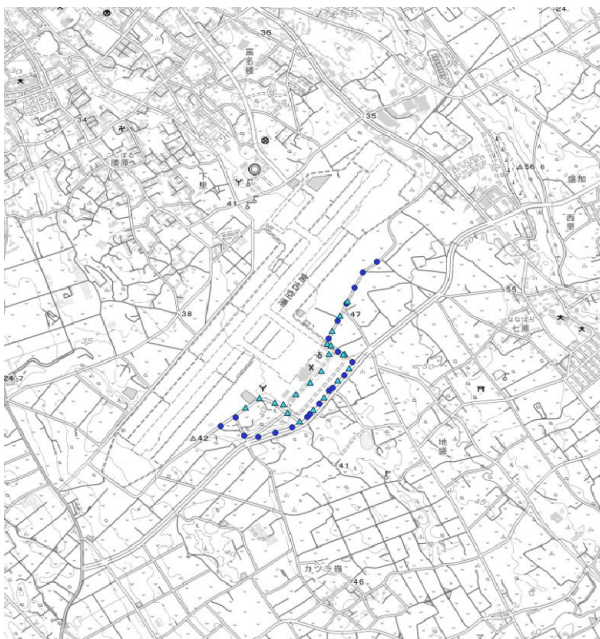
地理院タイルに追記



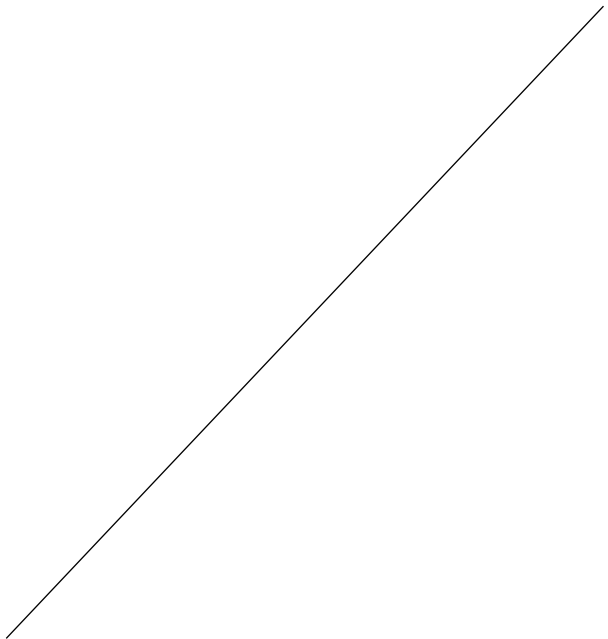
2022 秋



2021 秋



2020 春 (●)・秋 (▲)



2019 秋 (未実施)

宮古空港

図 2-1.7 調査地点

地理院タイルに追記



2022 秋



2021 秋



2020 春 (●)・秋 (▲)

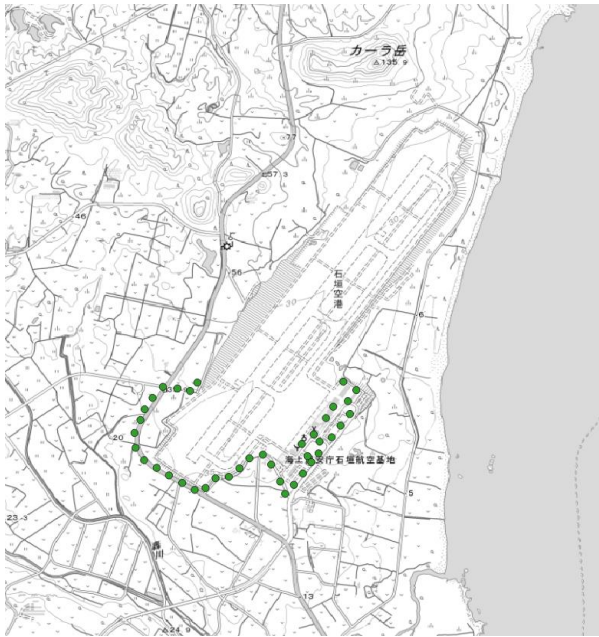


2019 秋

石垣港

図 2-1.8 調査地点

地理院タイルに追記



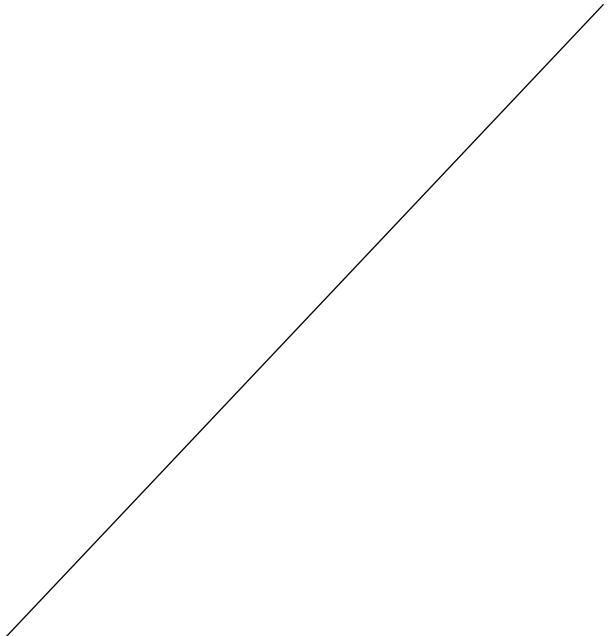
2022 秋



2021 秋



2020 春 (●)・秋 (▲)



2019 秋 (未実施)

石垣空港

図 2-1.9 調査地点

地理院タイルに追記

(4) 次年度の誘引剤調査計画

今年度実施した調査を基本として、誘引剤調査 10,000 地点以上（10 m 間隔 100 km）で、ヒアリ・アカカミアリのモニタリングを実施する。

誘引剤調査

調査方法	主な監視対象	調査範囲等	頻度
・誘引剤（スナック）を 10 m 間隔に設置 ・約 100 地点ごとに 1 単位にまとめ、50 g 以下（10～15 単位程度）にまとめて 1 検体とし、ヒアリ・アカカミアリ毒成分を GC-MS 分析	ヒアリ アカカミアリ	港湾や空港等、ヒアリの侵入リスクの高い場所の周辺道路や公園等。 10,000 地点以上。10 m 間隔で 100 km。	年 1 回以上。 秋季（10～11 月）。2 回実施の場合は、春季も実施。

- ヒアリ・アカカミアリ毒成分が確認された場合には、改めて 1 単位ごとに分析し、確認場所を特定する（1 単位は約 1 km の範囲）
- 特定された場所を、詳細に目視調査（5 m 程度の間隔）して、ヒアリ・アカカミアリの確認地点を特定する